

備陽史探訪

第246号
発行の会
備陽史探訪の会

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした
地域の歴史を研究し、
愛郷の精神を涵養する。
(会則第1章第2条より)

備後国衆列伝(25) 世羅郡の上原氏

会長 田口義之

はじめに

備後国の中央部、世羅台地は中世の莊園、高野山領『太田莊』の故地として有名である。戦国時代、この地に今高野山城を築き近隣に威を振ったのが上原氏である。

上原氏は、三次市吉舎町の南天山城に拠った有力国衆和智氏の一族と



今高野山城跡

伝えられる。和智氏は「むかで退治」で有名な藤原秀郷(倭藤太)の子孫、武蔵国広沢を名字の地とした広沢氏の一族である。

源平の内乱で広沢実方は、備前国藤戸の合戦で戦功をたて、その恩賞として備後国三谷郡十二郷の地頭職を給わった、これが広沢氏一族が備後に勢力を持った始まりである。ただし、広沢氏の惣領はこの後も関東に本拠を置き、備後には庶子家が惣領家の代官として入ってきた。すなわち広沢実村(実方の三男)の長男実綱は江田村(三次市向江田町)に土着して江田氏を名乗り、次男の実成は和智村(三次市和智町)に土着して和智氏の祖となった(1)。南北朝時代に突入すると関東の惣領家とのつながりも切れ、在地に根を張った、いわゆる国人領主として発展して行った。

上原氏の分立

和智氏はその後、三次市吉舎町に南天山城を築いて本拠を移し、室町時代の末期、和智豊実の長男実国は、

南下して世羅郡上原村(世羅郡甲山町)に土着した。これが上原氏の起りである。しかし、実国がなぜ上原を本拠としたのか、については不明の点が多い。多少推測を加えて述べると、実国の活躍年代は十五世紀の末から十六世紀の初め、明応(永正年間(一四九二〜一五二〇))である(2)。明応年間、備後国は、守護の座を巡って山名政豊と同俊豊が激しく争った(3)。元々世羅郡は守護領が多く、『太田莊』も山名氏の請地となっていた(4)。そして、この時期、守護代官として庄原の山内氏が入部していた(5)。ところが、山内氏はこの争乱で有力な俊豊方として活動し、江田、和智氏等の政豊方と対立する関係にあった(6)。この争乱は明応八年(一四九九)、政豊の死去によって終末を迎えるが、その後俊豊の名は消え、守護の座は政豊の三男致豊に渡っている。このことから、政豊方優勢の内に終わったものと考えられる(7)。

現在の会員数
209名



会員数は2月の
上旬現在の
数字です。その
後の増減は
ありません。
(いっちゃん)

目次

備後国衆列伝(25) (会長 田口義之)

世羅郡の上原氏 1

研究レポート (会長 田口義之)

中野上村と寺社III 1

福山築城と寺社の変転 (瀬良泰三)

調査報告 4

中世石造物の調査報告: (篠原芳秀) 7

備陽史探訪の会NEWS! 8

総会報告 8

令和八年度総会 9

田口義之の備後の古墳30選 11

備後最大の前方後円墳か 15

大元山古墳 15

事務局日誌

紀要『備陽史研究』の原稿募集

『備陽史研究』は、備陽史探訪の会紀要です。会員の皆様が個々に調査・研究をした成果を発表する場でもありますし、後世伝えたい郷土の歴史を残す場でもあります。

国立国会図書館や広島県立文書館をはじめ、市内図書館にも寄贈しており、広く一般の研究者や歴史に興味のある地元の人々の目に触れる機会も多くなります。

地道に積み重ねてきた日々の研究も、多くの方々の目に触れることができるようになって初めて意義のあるものになりますし、それを元に多くの人が議論することで、郷土史研究は更に深まります。

原稿は、随時募集しています。郷土史発展のために奮ってご応募ください。

【応募方法】

事務局宛て郵送かメール
info@bingo-history.net

備陽史探訪の会 事務局

会報「備陽史探訪」の原稿募集

会報「備陽史探訪」247号の原稿を募集中。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・イラスト・写真・俳句・随筆・昔語りなどなど会員の皆様の投稿をお待ちしております。

昭和の頃の何気ない日常の思い出話も、今では立派な歴史の証言。日本中どこを探してもないココだけの歴史情報お待ちしております！

原稿は事務局編集部まで。規定は16文字×120行以内。写真に一行コメントや100文字以内のコメントでもOK。なお、原稿は返却しませんので、必要な方は複製をお願いいたします。また、内容によって、研究レポートや郷土史探訪あるいは読者ノートなど、項目の判断させていただいたり、文字量の調整をさせていただきますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

 備陽史探訪の会 事務局

公式サイト <http://bingo-history.net/>
事務局メール info@bingo-history.net

事務局日誌

- ◇12月6日(土) ぶら探訪「近田に近世の痕跡をめぐる2」参加16名
- ◇12月13日(土)「近世福山の歴史を学ぶ」参加18名
- ◇12月13日(土) 歴史講演会「福山市内の歴史と文化財について」参加23名
- ◇12月13日(土) 望年会 参加20名
- ◇12月20日(土)「中世を読む」参加10名
- ◇12月27日(土) 中世石造物調査 参加4名
- ◇1月10日(土)「近世福山の歴史を学ぶ」参加18名
- ◇1月17日(土)「中世を読む」参加13名
- ◇1月21日(水) 古文書解説会 参加6名
- ◇1月24日(土) 歴史講演会「弥生社会の多様性と有力者出現の出現」参加40名
- ◇1月24日(土) 総会 参加30名
- ◇1月24日(土) 新年会 参加22名
- ◇1月30日(金) 古文書入門講座 参加10名

びんご歴史クイズ 63

毛利氏と備後についての質問編

- ①毛利氏が備後に影響力を持ったのは同族の長井氏が備後に勢力を持っていたためといわれますが、毛利氏と長井氏の関係で正しいのはどれでしょうか？
A 同じ大江広元の後裔であった。
B 長井氏は毛利氏の主君であった。
C 長井氏は毛利氏の家臣であった。
D 毛利氏は長井氏から養子を迎えていた。
- ②毛利氏が備後に影響力を持つ契機となった戦乱は次の内、どれでしょうか？
A 明徳の乱 B 応永の乱
C 嘉吉の乱 D 応仁の乱
- ③毛利元就の娘婿となった備後の国衆は次の内誰でしょうか？
A 和智誠春 B 杉原盛重
C 山内隆通 D 上原元将
- ④元就が備後を平定した最後の戦いは次の内どれでしょうか？
A 亀寿山合戦 B 志川滝山合戦
D 江田合戦 C 高野山合戦